

あらかしの森^もの林^の通信

12月号



● 合言葉は「早ね・早起き・朝ごはん」

● 民生委員・児童委員が改選

● みんなで徹底しよう「三ない運動」

合言葉は

早ね

早起き

朝ごはん

最近の子どもたちは、「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という成長期の子どもにとって必要不可欠な基本的な生活習慣が乱れてきています。子どもたちが正しい生活リズムを身につけ、心身ともに健康に育つよう、家庭や学校、地域が協力しながら、それぞれの役割を担っていきましょう。

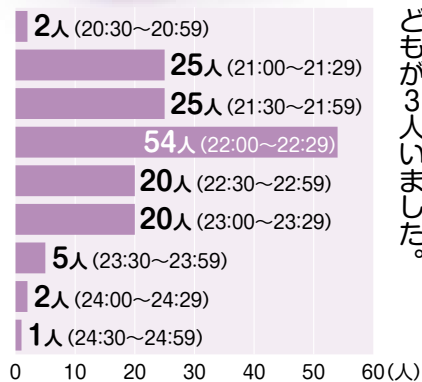
「早ね・早起き・朝ごはん」で、
元気いっぱいの阿蘇野小学校の児童



由布市の子どもたちは

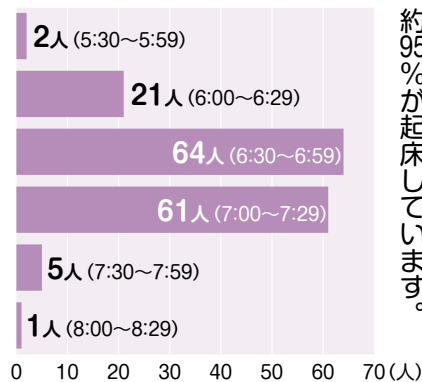
早ね? 早起き? 朝ごはんは食べている?

由布市と別府県民保健福祉センターは7月に由布川幼稚園と由布院小学校5・6年生を対象に「生活習慣実態調査」を行いました。
今回は、由布院小学校5・6年生の調査結果の概要をお知らせします。



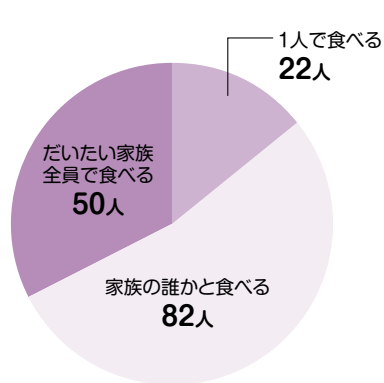
一番多かったのは、約半数を占めた午後10時台の74人。続いて多かったのが、午後9時台の50人で、約3割でした。また、午前零時を過ぎて起きている子どもが3人いました。

Q 就寝時間は何時ですか。



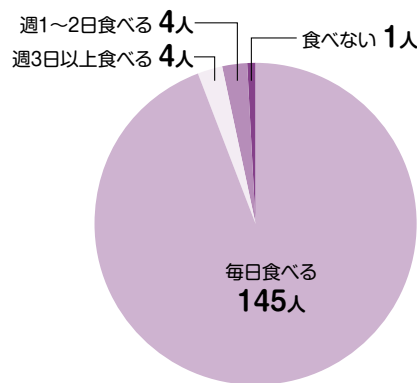
半数以上の子ともたちが午前7時前までに起床しています。また、午前7時30分までには約95%が起床しています。

Q 起床時間は何時ですか。



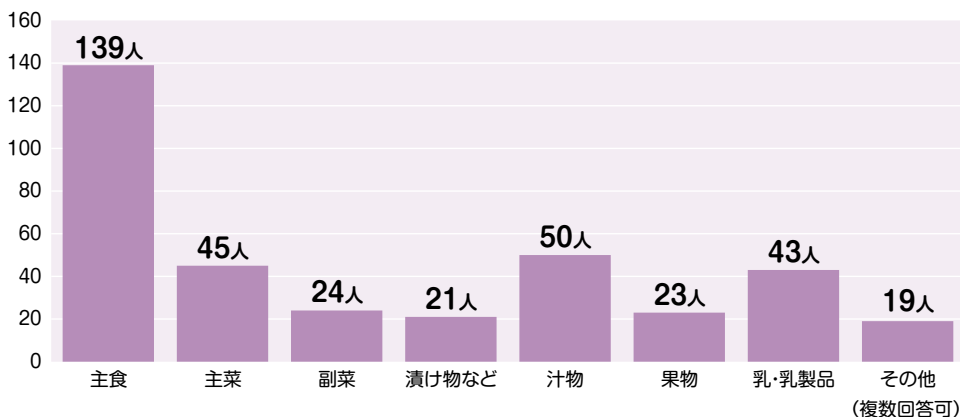
1人で食べる子どもが約14%います。

Q 朝食をだれと食べますか。



ほとんどの子どもたちが、朝食は食べているようです。

Q 朝食を食べますか。



朝食を食べた子どものほとんどが、主食(ごはん、パン、麺類など)を食べています。しかし、主食、主菜、副菜、汁物などをバランス良く食べていないようです。

Q 朝は何を食べましたか。

食生活改善推進員から見た「食と健康」

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、家族や地域の健康づくりに取り組んでいるのが、由布市食生活改善推進協議会の皆さん。由布市には、現在142人の食生活改善推進員（ヘルスメイト）がいます。長年、地域の健康づくり、食習慣等を見つけてきた皆さんに、「子どもたちの食習慣」等についてお話を聞きました。

リヤカーに道具を積んで栄養指導

食推活動の歴史は古く、戦後は保健所の栄養士さんと一緒に、栄養の改善などの活動を行ってきました。リヤカーに七輪や鍋などを積んで地域に出向き、料理を作って紹介。その後、生活習慣病（当時は成人病）が問題視されるようになってからは、その予防のための料理を成人や高齢者に普及する活動などを中心に取り組んできました。



「食習慣」の変化

行政とともに活動が繰り返される食推ですが、「朝ごはんを食べない」「外食が多い」など社会情勢の変化に伴い、近年は子どもたちの「食習慣（食育）」を身につけるための活動にも力を入れていきます。最近よく聞くようになった「食育」も、私たちは「母と子の料理教室」などで早くから取り組んできました。料理教室などで、子どもたちと接していく感じは、実体験の少なそうです。「トマトはごっこあるの」と聞くと「スーパー」と答える子どもが多いのに驚きました。豆腐はどうやって作るのか体験させたいし、手作りのおやつも知ってほしいと思います。

5つの大切な力

おもちゃづくりなどをする、子どもだけでなく、その保護者も感動していることがあります。核家族化が進み、親世代も手作りの味を知らないのかもしれない。食の安全が注目されている今だからこそ、子どもたちには「食べ物をえらぶ力」「食べ物の味がわかる力」「料理ができる力」「食べ物のいのちを感じる力」「元気なからだがわかる力」の5つの力を覚えてほしいと思います。

「食推は地味な活動ですが、みんなが健康で生活するために大切な活動。定年はないので、まだまだ現役です」と笑顔の皆さん。由布市の健康づくりの一役を担ってくれています。



▲食推役員の衛藤鈴代さん、佐藤晴美さん(写真上段) 佐藤久子さん、黒田待江さん、菅原豊子さん(写真下段)

しっかりと食べよう

朝ごはんできると
栄養素は4つ

朝ごはん



●炭水化物(糖質)
眠っている脳をシャキッと起こします。
ごはん・パン・麺類

●たんぱく質
子どもの体づくりに不可欠です。
肉・魚・卵・大豆製品

●カルシウム
骨と歯の成長につながります。
牛乳・乳製品・納豆・豆腐

●ビタミンC
免疫力を高める働きがあります。
野菜・果物



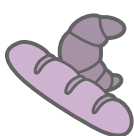
野菜・果物



牛乳・乳製品・納豆・豆腐



肉・魚・卵・大豆製品



ごはん・パン・麺類

由布市保育協議会は、市内にある8つの保育所(園)で構成されています。保育士研究会と給食研究会の2つの部会があり、より良い保育を目指して情報交換や研修等を行っています。

給食研究会では毎月、栄養士や調理員が献立検討会を開催。子どもたちに喜んで食べてもらうため献立作りに取り組んでいます。また、今年度は、「食」に関心を持ってもらう「食材」やその働きを知ってもらう「楽しい食事をしてみよう」と、食育の媒体作りを行いました。各保育所(園)ごとに、フェルト生地で作った野菜や肉、果物などの食材を製作。それを使って園児に、赤(体をつ



ニンジンは何色かな?

楽しく「食材」を学ぼう!

由布市保育協議会



▲各園で作られた分類表

くる)、緑(体の調子を整える)、黄(熱や力のもとになる)の3分類を楽しく教えています。最近では、園児たちが「これは赤かな、緑かな」と楽しそうに話しながら食事をする姿も見られるとのこと。「食」や「食材」に興味を持つ第一歩になっているようです。

栄養たっぷりな牛乳です

塚原酪農組合

塚原酪農組合は、湯布院町塚原地区3戸と宇佐市安心院町1戸の酪農家で組織。安全でおいしい牛乳を消費者に届けるため、日々の生産管理に取り組んでいます。

牛乳の良さはなんといっても、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)がバランス良く含まれていることだそうです。またカルシウムを始め、ミネラルやビタミンも豊富で、腸の動きを活発にし便秘防止にも効果的。コップ一杯当たりの価格も安く経済的といえます。

余分な添加物もなく、安心して口にできる食材の一つです。

原油や飼料価格の高騰で、牛乳の生産コストは上昇し、県内の酪農家の数も減少。今まで酪農



▲自慢の牛乳「ゆふいんの薫り」を手に、「朝一杯の牛乳で健康な生活を」と話す竹内秀馬さん、重実幸治さん、曾我和正さん(写真左から)

をやっている一番厳しい状況だそうですが、ここが踏ん張りどころと頑張っている同組合の皆さん。安全・安心でおいしい牛乳を子どもたちにも飲んでほしいと愛情込めて乳牛を育てています。

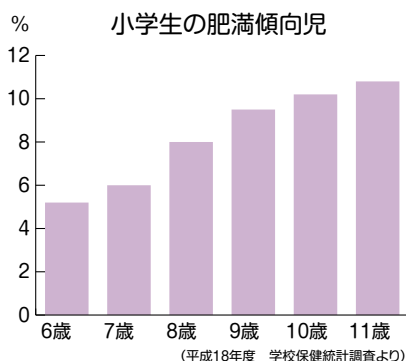


元気な毎日を送ろう!

元気に体を動かそう

最近は大人数だけでなく、子どもの肥満が進んでいます。おへそまわりが80cm以上は、「小児メタボリックシンドローム」予備群。子どものころから正しい生活習慣を身につけることが大切です。油の多い食事や不規則な食事には、注意しましょう。

また、のびのびと外遊びやスポーツをすると、元気で丈夫な体が育まれます。まずは、何かやりたいこと、これならできそうだと思うことを見つけて、友だちや家族と一緒に楽しく体を動かしてみましょ。



●体を動かす楽しさを体験

文部科学省が展開している「子どもの体力向上キャンペーン」の一環として、スポーツ選手ふれあい指導事業が11月1日、大津留小学校で行われました。

指導に当たったのは、モンテリオールオリンピック女子バレーボールの金メダリスト高木(旧姓白井) 貴子さん。全校児童14人は、ボールに親しむことから始め、レシーブやサーブなどバレーボールの基本を楽しく学びました。高木さんは子どもたちに「自分のチャレンジしたいことを見つけてください」とアドバイス。運動した後はお腹もペコペコ。みんなでおいしく給食を食べ交流を深めました。



▲高木貴子さん



早ね・早起きで、いい気分

健全な生活習慣の普及啓発のため、由布市では「早ね・早起き・朝ごはん」の標語を募集しました。市内の小学校の児童1,027人から応募があり、審査の結果、最優秀作品1点、優秀作品11点、佳作6点を選出。11月17日に、はさま未来館で行われた「由布市地域協育を考える市民の集い」で表彰式が行われました。

最優秀作品に選ばれたのは、阿蘇野小学校6年の高山耕介君の標語「早く寝て いい朝むかえて 朝ごはん」。夜は午後9時には就寝、朝は午前5時に起床という規則正しい生活を送っている高山君。朝食は家族そろって食卓を囲んでおり、その風景を標語にしたそうです。「朝もすっきり目が覚めます。朝ごはんもおいしく食べています」と笑顔。サッカーと剣道教室にも通い、元気に体を動かして健康生活を送っています。

「早く寝て
いい朝むかえて
朝ごはん」

高山耕介君



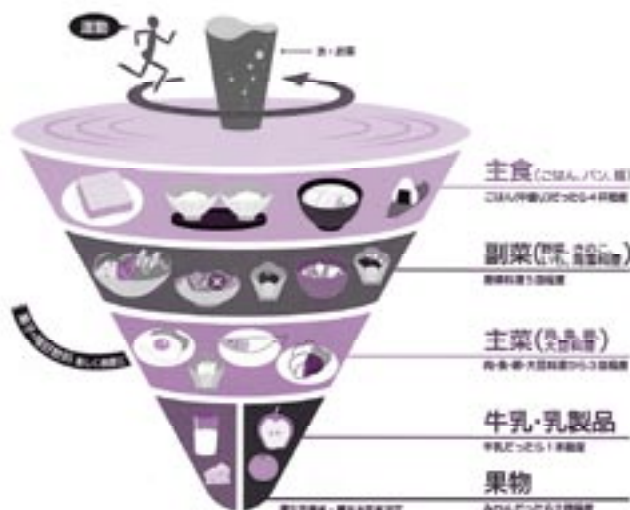
優秀作品

「ここに元気の秘密はね 早ね早起き朝ごはん」	河野 碧人(由布川小1年)
「早ね早起き朝ごはん 元気満タンいって来ます」	中村 実佑(由布川小1年)
「早ねして、朝食何かな 楽しみだ」	平松ののか(南庄内小2年)
「食べよう 元気になるもと 朝ごはん」	工藤朝弥豊(由布院小2年)
「おかあさん いつもありがとう 朝ごはん」	吉 武 楓(由布院小3年)
「はやくおき しっかりたべよう 朝ごはん」	児玉 結実(狭間小3年)
「おいしいね みんなたべよう 朝ごはん」	安部 博幸(狭間小4年)
「朝ごはん いっぱい食べて 超元気」	齊藤 凜吾(塚原小4年)
「朝ごはん 家族そろって 元気の力」	河野 桜菜(湯平小5年)
「早ね早起き朝ごはん 3つの呪文でパワーアップ」	立川日奈子(石城小5年)
「健康の一番の秘訣 早ね早起き朝ごはん」	伊藤 優衣(由布院小6年)

「早ね・早起き・朝ごはん」で

食事はバランスよく食べよう

- 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしましょう。
- 朝食、昼食、夕食と1日3回の食事を規則正しくとりましょう。
- ごはんや肉、野菜など、いろいろな食品を組み合わせ、バランスよく食事をしましょう。
- 1日1回は家族そろって食事をしましょう。



「食事バランスガイド」は、望ましい食生活についてのメッセージを示した「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるものとして、1日に「何を」「どれだけ」食べたらいいかの目安を分かりやすくイラストで示したものです。

子どもたちが健やかに成長していくためには、バランスのよい食事、適切な運動、十分な睡眠が大切です。各家庭や子どもの問題ではなく、社会全体で一丸となって、子どもたちの生活リズムの向上に取り組んでいきましょう。「早ね・早起き・朝ごはん」を合言葉に、元気な毎を送りましょう。

食事のあとは歯みがきを

自分で正しい歯みがきをするのが難しい幼年期は、甘い食べ物や飲み物によってむし歯が多くなります。また、「だらだら食事」は、むし歯を進行させます。

もともと私たちの口には、「だ液の分泌」というむし歯菌と戦う力が備わっています。しかし、その働きも食習慣によってはうまく発揮されないことがあります。子どものころから正しい食習慣を身につけましょう。

◆ 平成18年度由布市歯科健康診査 ◆

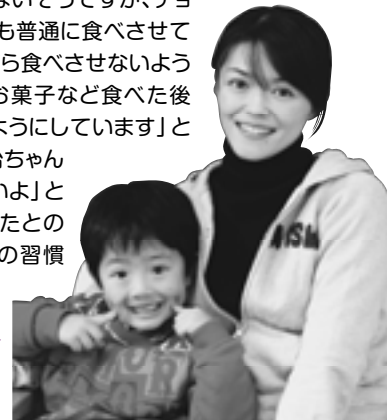
対象健診	受診者数 (人)	むし歯あり (人)	むし歯の 総数(本)	むし歯の 保者率(%)	1人当たりむ し歯数(本)
1歳6カ月児	254	9	28	3.5	0.11
3歳児	277	116	533	41.9	1.92

「母と子のよい歯のコンクール」で 吉村さん親子が全国優秀者

11月17日、東京都で開かれた第28回全国歯科保健大会で、「第56回母と子のよい歯のコンクール」の表彰式が行われました。大分県代表でコンクールに選出されていた吉村佳代子さん、雅治ちゃん親子(湯布院町川南)が見事、最高賞の優秀者6組に選ばれました。

このコンクールは、昨年度に受けた3歳児歯科健診が対象となるもので、吉村さん親子はむし歯が一本もありません。毎食後は、歯みがきをかかさないので、チョコレートなどのお菓子も普通に食べさせているそうです。「だらだら食べさせないようにしています。また、お菓子など食べた後は、水などを飲ませるようにしています」と吉村さん。最近、雅治ちゃんから「歯みがきしてないよ」と催促があるようになったとのこと。自然と歯みがきの習慣が付いているようです。

むし歯ゼロで笑顔もキラ
キラの吉村佳代子さん、
雅治ちゃん親子



11月8日に開催された由布市議会臨時会で正副議長選があり、議長に三重野精二さん、副議長に丹生文雄さんが選出されました。また、市議会選出の監査委員には生野征平さんが選任されました。

議長就任あいさつ



由布市議会議長
三重野 精二

去る11月8日に行われまして、由布市臨時会におきまして、議員各位の御推挙によりまして、市議会議長の要職に就くことになりました。

自らの浅学非才を顧みまして、責任の重大さを痛感いたしておりますが、この上は、由布市の発展と市民福祉の推進に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

さて、一昨年の10月に、歴史や背景が異なる挾間・庄内・湯布院の3町が様々な困難を乗り越えて大同し、新生由布市が誕生しました。

これまで、3地域の市民の融和を図り、市民皆様が積極的に市政へ参加していただき、さらに由布市を豊かに発展させるために、「融和・協働・

発展」という市政運営の基本理念を定める中で、様々な施策の取り組みがなされました。由布市総合計画の策定や各種団体の一体化の促進、そして行財政改革の推進などにより、一体感のある新しい由布市の姿が少しずつ見えてきたように感じます。

しかし、分庁舎方式から本庁舎方式への検討など、合併時に未解決のまま新市に引き継がれた多くの課題が山積しています。

本格的な地方分権の時代を迎え、地方議会の果たす役割も大きく広がっております。

私ども市議会も、「住民と共に歩む議会」「開かれた議会」のための議会改革の取り組みを進めるとともに、議員の資質向上を図り、政策立案による、多くの議員発議ができる議会を目指していきたいと思っております。

終わりに、市民皆さま方のご理解とご指導をお願い申し上げます。議長就任のご挨拶と致します。

秋の叙勲

【瑞宝単光章】

佐藤 勝美さん(68) 庄内町長野

佐藤さんは昭和39年に庄内町消防団に入団。消防人として約37年間、消防の使命の重要性を認識し、非常時に際しては常に第一線で活躍されました。また、平成15年から庄内町消防団長、合併後は由布市連合消防団長に就任。消防団活動の推進、団員の資質向上等に務められました。

長年の消防団活動で思い出されるのは、台風等による土砂災害現場での復旧活動だそうです。「中山間地域での土砂災害の危険性、水防訓練等の重要性を痛感しました」と当時は振り返ります。今回の受章にあたり、「身の引き締まる思いです。協力してくれた団員や地域の皆さんに感謝したい。これからも地域のために微力ではあるが恩返ししたい」と決意を新たにいたしました。



寄付・寄贈のお礼

由布市に次のとおりご寄付をいただきました。市の浄財として有効に活用させていただきます。ありがとうございます(10月・11月分)。

【個人】

津久美 英一様(100万円)
舟橋 朋子様(100万円)

【団体等】

大分県太鼓連合様(5万円)
エンジェルバード様

(もち米1俵)

冬季の省エネルギー対策

暖房の設定温度は20℃を目安に、地球にやさしい、省エネ型のライフスタイルを実践しましょう。



由布市観光協会と佐伯市観光協会の交流協定調印式が11月22日、両市の観光関係者など約60人が出席し、佐伯市の県マリナルチャイセンターで行われました。

調印式では由布市観光協会長の首藤奉文市長と佐伯市観光協会長の西嶋泰義市長が協定書に調印。今後は、両市が保有する温泉や海岸美、豊かな



な食材等、固有の地域資源を活用した観光振興に努め、相互の友好的な交流促進に取り組んでいきます。

また、当日は交流協定を記念し、「由布市&佐伯市縁カッブル」に選ばれた佐藤正明さん・真樹さん夫婦(佐伯市)の発表式なども行われ、交流の発展に向けて和やかな雰囲気での交流を深めました。

差押 不動産を再公売します

◆所在地・物件

由布市庄内町東長宝字椀ノ石420番13外

土地2筆(宅地)403.28㎡

建物1棟(遊技場 居宅)

1階 306.68㎡

2階 101.23㎡

◆公売方法 入札(土地・建物一括)

◆入札日時 12月20日(木)

午前11時(午前10時30分から受付)

◆入札場所 由布市役所庄内庁舎3階大会議室

◆公売保証金 40万円

(現金または銀行振り出しの小切手)

◆問い合わせ

収納課

(097-582-1111 内線302)



ルールを守って

交通安全

年末年始には、飲酒機会の増加・交通量の増加等により交通事故が多発します。交通ルールを守って交通安全を心掛けましょう。



●高齢者の交通事故防止

- ・歩行中の高齢者や、高齢運転者に対する思いやり運転をしましょう。
- ・70歳以上の運転者は、「高齢運転者標識(高齢者マーク)」を積極的に付けましょう。

●飲酒運転の根絶

- ・「飲酒運転は絶対にしない・させない」を徹底しましょう。
- ・車の運転者には「酒を出さない・勧めない」ことを徹底しましょう。

●全席シートベルトの着用の徹底

- ・全席での正しい着用を習慣付け、近距離でも必ず着用しましょう。

●人もくるまも早めの合図

- ・早朝、夜間、夕暮れどきは反射材を身に付け、懐中電灯を持って歩きましょう。

挟 間

●民生委員・児童委員

氏名	住所	担当地区
奥野昭生	七蔵司	高崎・山口・七蔵司・中台
加藤明美	来鉢	来鉢東部・北田代
安部貞子	来鉢	来鉢西部・来鉢中部
井原良雄	田代	南田代・詰
安東唯信	古野	古野(下黒野・藤合水・東団地・グリーンタウン医ヶ丘)
山本睦奥男	古野	サントピア古野
首藤秀子	古野	古野(古原・本村・本村南・本村東・上組)
油布保明	古野	古野(向・中ノ原・下原・松原)
佐藤静子	三船	三船
穴井祐子	古野	古野郷
城内洋子	赤野	赤野
園田紀生	赤野	海老毛・丸田・東行・宮田
安部しのぶ	朴木	朴木上・朴木下
阿部紀代子	医大ヶ丘3丁目	医大ヶ丘(1丁目～3丁目)
實松昭廣	下市	下市(1班～8班)
川畑タヤ子	下市	下市(9班～14班)・雇用促進住宅
鳶田あや子	鬼崎	下鬼崎・豊友館
梅野悦子	北方	北方
松田美恵子	挟間	上市東部(1班～6班)
二宮英子	挟間	上市中部(7班・8班・15班～17班)
丹生美佐緒	挟間	上市西部(9班～14班)
小野久子	挟間	鶴田
得丸富美子	向原	向原
宮田研一	向原	挟間中村・柏野
小野律子	鬼瀬	鬼瀬・池ノ上
奥平照子	時松	時松・茅場
河野弘子	北方	喜多里・サニータウンはさま
二ノ宮文子	小野	谷中村・小野・阿鉢
田松嘉香	篠原	篠原・東山
阿部新平	鬼崎	谷東部・生田原
江藤良子	谷	山田・中恵・田ノ小野
日野國人	筒口	酒野・上筒口・下筒口
坂本知恵子	鬼崎	同尻

●主任児童委員

平松和子	挟間	挟間地域
河野ハツミ	赤野	挟間地域

「民生委員・児童委員」は、 地域の中で 相談や支援を行います。

民生委員・児童委員が改選

由布市の民生委員・児童委員が改選されました。任期は、平成19年12月1日から平成22年11月30日までの3カ年です。

由布市では92人の民生委員・児童委員が各地区で活動を行っています。また、民生委員・児童委員の中には、児童福祉を専門に担当し活動する主任児童委員が6人います。

地域の身近な相談員

民生委員・児童委員は、地域住民から社会福祉に関わる相談に応じ、さまざまな支援を行っています。個人の秘密は固く守られますので、生活上の心配ごとや困りごとがありましたら、お気軽にお近くの民生委員・児童委員にご相談ください。

一人で悩まず相談を

- 高齢者に関すること
 - ・一人暮らしでの困りごと
 - ・高齢者だけの世帯での困りごと
- 子どもに関すること
 - ・いじめや児童虐待
 - ・子育ての仲間がいない
- 障がい者に関すること
- その他生活全般に関すること
 - ・配偶者等からの家庭内暴力

問い合わせ

福祉対策課

☎0977-84-3111

湯 布 院

●民生委員・児童委員

氏 名	住所	担当地区
鶴岡和代	塚原	塚原
三苫啓蔵	川上	津江
生嶋孝子	川上	岳本(上)
加藤静香	川上	岳本(下)
豊島昌太郎	川上	湯の坪(1)
佐藤春世	川上	湯の坪(2)・中島
井出昌雄	川上	佐土原
河野洋子	川上	並柳・若杉
溝口康二	川上	乙丸1
杉田洋一	川上	乙丸2
溝口ミヤコ	川上	乙丸3
後藤安子	川上	新町1
大谷ユフコ	川上	新町2
城美恵子	川北	荒木
宇都宮敬士	川北	石武・光永
志手百合子	川南	西石松
田中照男	川南	東石松1・東石松2
攝津ミチ子	川南	東石松2・東石松3
伊美高司	川南	山崎・平
立川克己	中川	中依・下依
日野孝男	川西	前徳野・内徳野・槐木
峰ヤエ子	川西	畑倉・奥江・上津々良
日野由子	川西	下津々良・鮎川
秋吉亮太郎	湯平	湯平1・湯平2
佐藤ひとみ	湯平	湯平2・湯平3
秋吉勇一	下湯平	畑・小平
河野富夫	下湯平	幸野・水地

●主任児童委員

利光恵子	川上	湯布院地域
足利温彦	川北	湯布院地域



◀地域住民の方が、安心して暮らせるよう、介護などさまざまな相談にのっています。

学校などと協力して、いじめ▶や児童虐待などの予防活動に取り組んでいます。

庄 内

●民生委員・児童委員

氏 名	住所	担当地区
杉崎初実	畑田	畑田・みどり団地・猪野竹ノ下
玉井小夜子	高岡	長野・葛原
曾根崎孝子	高岡	佐平治・橋爪・甲斐田・宇南水足・小松台
山崎佳子	中	深谷・雲取
小野笑子	庄内原	東家・小原
麻生キミコ	平石	平石・下武宮・中武宮
麻生なおみ	西	藁草・上武宮
崎野富子	櫟木	櫟木・五福
佐藤幸美	東長宝	蛇口・長宝団地・なごみの里
甲斐信秀	西長宝	小野屋・高津透内
小野知子	西長宝	久保
大友光馬	東大津留	袖の木・小挾間・影戸
藤川幸子	南大津留	瀬口・中尾・宗寿寺・竹の中
大久保さとみ	淵	淵6区・淵7区
佐藤逸子	淵	淵5区
安部英助	野畑	野畑3区・野畑4区
土屋一代	柿原	柿原1区・柿原2区
安部庄二	大龍	大龍東部2区
三宮秀政	大龍	大龍東部1区
角初美	五ヶ瀬	五ヶ瀬・ドリームタウン五ヶ瀬
斉藤隆	大龍	大龍西部
小原洋子	龍原	龍原
工藤孝次	阿蘇野	原中・井手下・上重
大塚洋二	阿蘇野	高津原・栢の木・中村
二宮崇徳	阿蘇野	日ヶ暮・永十・伊小野
佐藤嘉勝	直野内山	直野内山

●主任児童委員

芝野聖美	東長宝	阿南・西庄内
首藤琉美子	高岡	東庄内・南庄内・阿蘇野





みんなで徹底しよう「三ない運動」

贈らない

求めない

受け取らない

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。

「贈らない・求めない・受け取らない」の3つの『ない』をしっかりと守りましょう。

由布市明るい選挙推進協議会

政治家の寄付の禁止

政治家（候補者、候補者になるうとする者、現に公職にある者）が、選挙区内の人に対して寄付をすることは、その時期や名義を問わず、次の場合を除いてすべて罰則の対象になります。

- 政治家本人が出席する場合の結婚祝い
- 政治家本人が出席する葬式や通夜の香典

政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止

政治家に対し、寄付をするように勧誘や要求をすることも禁止されており、政治家を威迫して、あるいは政治家の当選または被選挙権を失わせる目的で勧誘や要求をすると処罰されます。

政治家の関係団体の寄付の禁止

政治家が役員、構成員である団体、会社が選挙区内の人に対して、政治家の氏名を表示したり、氏名が類推されるような方法で寄付をすることは禁止されています。

後援団体の寄付の禁止

後援団体（いわゆる後援会が、選挙区内の人に対して花輪、供花、香典、祝儀等を出したり、後援団体の設立目的により行う行事や事業に関する寄付以外の寄付をすると、その時期や名義を問わず処罰されます。



年賀状等のあいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内の人に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状・暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。

あいさつを目的とする有料広告の禁止

政治家や後援団体が、選挙区内の人に対し、あいさつを目的とする有料の広告を新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどに出すと処罰されます。

写真付き住基カードは運転免許証などと同様に公的証明書として利用できます

こんなときに便利です

- 銀行口座等の新規開設
- 携帯電話・クレジットカード等の契約
- 行政機関の個人情報開示請求
- 戸籍の届け出
- パスポートの発行
- 書留郵便等の受け取り

「住基カード」の交付手続き、手数料などについては市役所市民課（☎097-582-1111 内線152）にお問い合わせください。

新農家暦・農業日誌 ファミリー日誌予約受付中

「言葉の歳時記」「お国じまん」「上手なガーデニング」など楽しく読みながら日々の生活を綴ることができる『農業日誌』と『ファミリー日誌』。

また、農家の実用ハンドブック、生活便利帖として好評な『新農家暦』。

ただ今、予約受付中です。

● 農業日誌

B6版600ページ

予約価格1,300円

● ファミリー日誌

B5版340ページ

予約価格1,300円

● 新農家暦

A5版88ページ

予約価格300円

● 申込期限

1次締切 12月25日(火)

2次締切 1月31日(木)

● 申込先 農政課(挾間地域)、地域振興課農林係(庄内・湯布院地域)



工業統計調査にご協力を

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象に、全国一斉に行う重要な経済調査です。調査期日は毎年12月31日現在です。12月から来年1月にかけて統計調査員が訪問し、調査票の配布・回収を行います。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので正確なご記入をお願いします。問い合わせ

総合政策課統計係

☎097-582-1111

内線221

農林水産統計調査で表彰

「統計の日」の記念式典が10月31日、大分市のソフィアホールで行われ、農林水産業の統計調査に功績のあった県内の66人に農林水産大臣感謝状が伝達されました。由布市からは、坂本善徳さん(庄内町直野内山)、河野哲夫さん(庄内町阿蘇野)、多田勝彦さん(庄内町庄内原)が受賞されました。これは、永年にわたって、各種調査に協力され、林業経営改善のための政策推進に貢献されたことが認められたものです。

農業委員会委員の 選挙人名簿の登載申請は 来年1月10日までに

農業委員会委員の選挙人名簿を調整します

この名簿は、毎年1月1日現在を基準として申請に基づいて作成し、一年間据え置かれる定時調整名簿です。1月1日現在の状況を記入して1月10日までに提出してください。申請書の配布と取りまとめは、挾間・庄内地域は各自治委員さんに、湯布院地域は各小組合長さんをお願いします。該当する人は提出してください。

対象者

- ・由布市内に住所を有する人
- ・満20歳以上の人
- ・10アール以上の農地を耕作している人
またはその同居の親族や配偶者で、
年間おおむね60日以上耕作している人

問い合わせ

由布市農業委員会

☎097-583-1111 (内線1352・1353)

2008年版 大分県民手帳を 販売中



暮らしやビジネスに役立つ、ふるさと情報満載の便利手帳です(大分県統計協会発行)。

- 価格 大型500円(14.9×8.7cm)
小型400円(12.7×7.7cm)

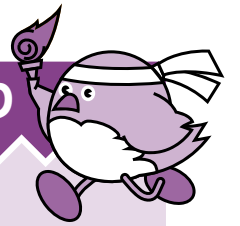
■ 内容

日記編(カレンダー、県内の主な行事など)
資料編(大分県の概要、市町村のすがたなど)
名簿編(県議会議員名簿、県行政組織表など)
生活編(県内の道の駅、県の相談窓口など)

■ 購入方法

挾間・庄内・湯布院の地域振興課で取り扱っています。代金を添えてお申し込みください。

- 問い合わせ 総合政策課統計係
(☎097-582-1111 内線221)



チャレンジ! おおいた国体だより

秋田国体を視察して

先月号に引き続いて、秋田国体レポートを掲載します。

ライフル射撃競技会場 (秋田県立総合射撃場: 50m・10m競技)
(由利本荘市岩城総合体育館: ビーム競技)

アーチェリー競技会場 (北秋田市阿仁吉田特設アーチェリー場)

ゴルフ少年男子競技会場 (秋田市南秋田カントリークラブ)

ライフル射撃競技

大会は由利本荘市で開催され、50m・10m競技とビーム競技に分かれ、2会場で実施されました。

両会場とも整備され、運営上余裕ある会場となっていました。表彰式と選手控え所は大型仮設テントが設けられ、参考にすべき配置となっていたようです。交流会場ではドリンクサービスや地元女性団体による豚汁無料サービスもあり、おもてなし

の心で、来場者を迎えていました。一方、会場までの道案内看板やのぼりは、やや少ない感じに思えました。

ゆとりある会場作りは来年の大分国体開催に向けて、大変参考になりました。

アーチェリー競技

会場の北秋田市阿仁吉田特設アーチェリー場は秋田市から車で1時間半の場所にあり、観客席は仮設で大々的に準備していたこと、市民ボランティアも若い方からお年寄りまで、それぞれの持ち場で一生懸命やっていることが伝わってきました。

競技補助員の中学生も、キビキビとした行動であいさつもしつかりしていました。特に表彰式はほぼ完璧でした。来年の国体に向け、事前の入念な準備や打ち合わせが必要となります。

ここでは民泊が行われたこともあり、至る所で市民あげての国体開催を感じることができました。

ゴルフ少年男子競技

会場の南秋田カントリークラブは、秋田市北部郊外に位置しています。大分会場の大分サニールゴルフ倶楽部と規模的に

は同じようです。コースは全18ホール、6928ヤードでパー72となっています。

ゴルフ競技は秋田市内の3会場で開催され、同一市内での大会は連携もスムーズにいったようでした。また、相互で循環バスが運行。歓迎のぼりの多さや綿密な輸送計画は、大いに参考となりました。

開始式は実施せず、表彰式はレストランで行うなど、簡素化が図られていました。観客席には仮設スタンドは無し。一方、JGA(日本ゴルフ協会)の指導で、大勢の観客対策として、ローピングが張られていたのが目に付きました。

大分国体ではゴルフ競技は3市が会場地となり、先行開催であることから、相互の連絡を図り、気を引き締めていく必要があります。



▲にぎやかなゴルフ競技会場



▲出店コーナーも充実していたライフル射撃競技会場



▲その日のスタッフジャンパーで表彰式をサポートする中学生(アーチェリー競技会場)

◆チャレンジ! おおいた国体に関するお問い合わせは

チャレンジ! おおいた国体由布市実行委員会 (由布市国体推進室 ☎097-582-1111 内線307) まで。

子どもが輝く

地域が輝く

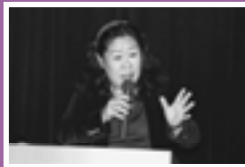
「由布市地域協育を考える市民の集い」を開催

今年度の「おおいた教育の日」関連事業として、11月17日に「由布市地域協育を考える市民の集い」がはさま未来館文化ホールで行われました。これは、学校と家庭、地域社会が連携して子どもを育てる「地域協育」のネットワークを広げ、教育に対するとらえ方をみんなで見直すきっかけづくりのために開催されたもので、当日は学校関係者や地域住民代表、保護者ら約300人が参加しました。主催者の衛藤公臣由布市教育委員長のあいさつに続いて、来賓の首藤市長が「今日はスタートの日です。学校と地域が一体となって子どもたちを育てましょう」と祝辞。続いて、「早ね・早起き・朝ごはん」標語と由布市読書感想文コンクールの受賞者の表彰が行われました。



▲読書感想文コンクールの最優秀賞作品を発表

大会スローガンを提案する芝野聖美コーディネーター代表



▲杉並区学校教育コーディネーターも務める生重さん

会場には「早ね・早起き・朝ごはん」の優秀作品を展示



ワークショップの様子▶

また、当日は「地域教育の必要性～地域・学校・家庭が連携することの意義～」と題し、NPOスクール・アドバイザー・ネットワーク理事長の生重幸恵さんが基調講演を行い、家庭と地域と学校をつなぐ「教育支援コーディネーター」の役割を中心に地域協育の必要性を訴えました。午後は「地域協育セミナー」を行い、地域住民やPTA、さらには学校関係者らが学校支援のあり方などについて、実際にワークショップを行って参加者全員で地域協育について考えました。「地域の宝」である子どもたちのために、みんなで様々な「協育」活動に積極的に参加していきましょう。

平成20年

由布市成人式のお知らせ

◆日時 平成20年1月13日(日)

<受付> 午前10時～

<式典> 午前11時～

<記念写真撮影> 正午～

<祝賀パーティー>

午後1時～(会場：挟間小体育館)

◆場所

はさま未来館文化ホール

(由布市挟間町)

◆対象者

昭和62年4月2日～

昭和63年4月1日までに生まれた人

※由布市に住民票のある新成人の人には、12月中旬に成人式の案内状を送付する予定です。転出などで由布市に住民票がない新成人の人でも成人式に参加できます。希望者は平成20年1月4日(金)までに生涯学習課へご連絡ください。

◆問い合わせ 生涯学習課

☎0977-84-3111 内線232・234



イータックス e-Tax をご利用ください

「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」を利用することにより、国税に関する各種手続き(①所得税、法人税、消費税、酒税及び印紙税の申告 ②すべての国税の納税 ③法定調書の提出などの申請・届け出等)が自宅や事務所にいながらにしてインターネット等で行うことができます。詳しくは、ホームページ(<http://www.e-tax.net>)をご覧ください。

e-Taxを利用して 所得税の申告をすると

- ① ホームページから 簡単申告
- ② 最高5,000円の税額控除
- ③ 添付書類が提出不要
- ④ 還付金がスピーディー



国保からのお知らせ

問い合わせ 保険課国保係 ☎0977-84-3111 内線364

●70歳から74歳の方の窓口負担の据え置きについて

70〜74歳の方が医療機関で治療を受けたときにお支払いいただく窓口負担が、平成20年4月から平成21年3月までの1年間、「1割」に据え置かれるようになります。

これは、昨年の制度改正で70〜74歳の方の窓口負担について、平成20年4月から2割負担に見直すとしていたものを据え置くものです。ただし、70歳〜74歳の方で、現在、3割負担の方及び老人保健該当者で翌年4月以降、後期高齢者医療制度の対象となる一定の障害認定を受けた方は該当しません。

なお、この据え置きの措置に伴う「高齢受給者証」は3月に再度発行します。旧受給者証は平成20年4月から使用できませんので、最寄りの庁舎の保険係まで返却していただくことになります。

●社会保険料控除証明書(国民健康保険税)の送付



確定申告や市県民

税の申告に必要な国民健康保険税に関する社会保険料控除証明書(平成19年1月〜12月に納付した国民健康保険税額の証明書)は、平成20年1月中旬の郵送を予定しています。

ただし、年末調整等でどうしても年内に証明書が必要な方については、湯布院庁舎保険課国保係、または挾間・庄内庁舎地域振興課保険係で発行時までの納付金額等が確認できる証明書を発行することができます。運転免許証等ご本人を証明できるものと印鑑を持参して申請を行ってください。

●「医療費の還付」などを装った不審電話に注意を

最近、「医療費の還付がある」などといった、フリーダイヤルに電話させられ、銀行のキャッシュカードコーナーへ誘導するような説明を受けた」との問い合わせが相次いでいます。

一般的に行政機関では、市民の方から書面などでの請求手続きがないのにお金を支払うことや、手続きのためにキャッシュコーナーへ行くように依頼することはありません。

万一、このような不審電話があった場合は、相手の所属・氏名・電話番号を確認のうえ、市役所までお問い合わせください。



おしるし

国民年金

国民年金保険料は
全額社会保険料控除の対象



国民年金の第一号被保険者の方が、今年の1月から12月までに納めた国民年金保険料は、確定申告の際に全額社会保険料控除の対象になります。

毎月納めている保険料のほかにも、過去に納めていなかった分の保険料を納めたり、免除期間の保険料をさかのぼって納めたりした場合も控除の対象となります。

また、国民年金基金の掛金も全額が社会保険料控除の対象となりますので、忘れずに申告をしてください。

なお、一昨年から申告の際に納入証明書の添付が義務付けられました。平成19年1月1日から10月1日までに国民年金保険料を納入された方については、「社会保険料控除証明書」を11月初旬にお送りしています。10月2日以降に初めて納入された方については、平成20年2月初旬ごろ送付予定です。

賢い消費者になるために

消費生活セミナー受講生

募集

多様化する悪質商法、安全な食生活など、私たちを取り巻く問題をやさしく学べるセミナーを開講します。

私たちの安心・安全な暮らしのため自分で正しく判断できる消費者になるための第一歩として消費生活セミナーで楽しく学んでみませんか。

◆開催日時と内容

【第1回】1月22日(火) 10:00～14:30

講座①『悪質商法について』

講座②『消費生活相談事例について』

【第2回】2月19日(火) 10:30～15:00

講座③『JAS法に基づく生鮮及び加工食品の表示について』

講座④『住まいの安全対策について』

※4講座すべて受講された方には、大分県知事より修了証書が授与されます。

◆開催場所 湯布院公民館2階視聴覚室

◆対象者 由布市民

◆募集人員 50人

◆受講料 無料(交通費、昼食代等は受講生負担)

◆申込方法 電話またはFAXで、受講者の住所、氏名、電話番号をお知らせください。

◆申込期限 1月11日(金)

◆申込先・問い合わせ

大分地域くらしの安心相談員連絡協議会(由布市商工観光課内)

☎0977-84-3111 内線512

FAX0977-84-3121



湯布院健康温泉館の (クアニッシュユブいん) 年末年始営業日

年末年始期間中は営業時間を変更しています。ご注意ください。

営業時間

- 12月29日(土) 平常通りの営業
受付 午前10時～午後9時
(閉館午後9時30分)
- 12月30日(日)～1月3日(休)
受付 午前10時～午後4時30分
(閉館午後5時)

入館料
問い合わせ

市民300円(1人1回、6歳未満無料)
湯布院健康温泉館
☎0977-84-4881

健康カレンダー

挟間

- 12月14日(金) ちびっこ広場 (9:30 挟間健康センター)
- 12月20日(木) 3歳児健診 (13:30 挟間健康センター)
- 12月21日(金) ちびっこ広場 (9:30 挟間健康センター)

「由布市・家族支援プログラム」に 参加しませんか

認知症の介護を一人で抱え込まないために、家族の気持ちと仲間作りを大切にしたい講座です。これから先の介護を乗り切る力と自信がついてきます。認知症の人を介護している家族が対象で、参加費は無料です。講座はすでに始まっていますが、途中からの参加も可能です。

開講日時とテーマ

毎月第3木曜日、午後1時～3時30分

	開講日	テーマ
第5回	12月20日(木)	寄り添ってみよう、相手の心
第6回	1月17日(木)	医師とのかかわり方・交流会

場 所

由布市役所庄内庁舎健康増進室

申込方法

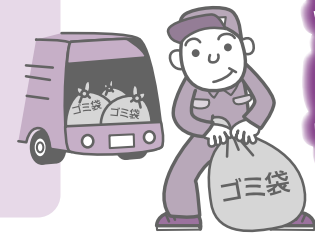
由布市役所各庁舎の福祉対策係、各地域包括支援センターに備え付けの参加申込書に必要事項を記入うえ、郵便・FAXでお申し込みください。

申込・問い合わせ

認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)大分県支部
〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号、大分県社会福祉介護研修センター内
☎・FAX097-552-6897

年末年始のゴミ収集について

12月29日(土)から1月3日(木)の間は、ごみ収集はありません。ごみステーションにごみを置かないようお願いいたします。
 新年は、1月4日(金)から通常どおり収集をします。



ごみ収集日程表の訂正

3月に配布しました「平成19年度庄内区域ごみ収集カレンダー(2-1)」の区域「東庄内・南庄内・阿蘇野・谷地区(挾間)」の収集日程表に記載誤りがありました。12月31日(月)が可燃物収集日となつていますが間違いで、可燃ごみの収集はしません。該当のカレンダーをお持ちの方は訂正をお願いします。
 (誤) 12月31日: 可燃物収集 (正) 12月31日: 収集なし

ごみ収集に関する問い合わせ

【挾間・庄内】由布大分環境衛生組合(☎097-583-0862)
 【湯布院】環境課(☎0977-84-3111)

ユーバス

由布市コミュニティバス

本年1月から11月末まで、国土交通省の補助でコミュニティバス(ユーバス)の実証運行を行いました。利用状況等を検証した結果、12月からバス停について、次のように見直しを行いました。ご利用される方は注意してください。

なお、バス停の標示板を来年4月までには、すべてのバス停に設置します。路線や時刻につきましては来年4月に改正予定です。

●新設したバス停

七蔵司コース…三船泉、喜多里、農協倉庫前
 北田代コース…中畑上
 小袋コース…中淵公民館前
 湯平コース…小平公民館上

●休止したバス停

上切畑コース…小鹿倉
 塚原コース…湯の坪、岳本

年末・年始の運休

12月29日(土)~1月3日(木)はスクールバス、シャトルバスなどすべてのユーバスは運休します。

●問い合わせ

総合政策課(☎097-582-1111 内線217)

大分エコライフプラザ情報 クリスマスキャンドル作り

- 日時 12月22日(土)
午前10時~12時
- 内容 使用済みの廃油でクリスマスキャンドル作り
- 定員 10人(先着順)
- 参加料 300円
(親子500円)
- 申込期限 12月20日(木)
- 申込先・問い合わせ
大分エコライフプラザ
(☎097-588-114)



今月の税

- 国民健康保険税 ……7期分
- 市県民税 ……4期分
- 入湯税 ……12月期分(11月分)
- 介護保険料(普通徴収)…7期分

納期限 12月25日(火)

入湯税、法人市民税の納期限は平成20年1月4日(金)です。

休日在宅当番医

●内科・外科医

12/16 庄内診療所(庄内)	☎097-582-3600
12/23 日野病院(湯布院)	☎0977-84-2181
12/24 川崎内科(挾間)	☎097-583-5211
12/29 日野病院(湯布院)	☎0977-84-2181
12/30 秋吉医院(湯布院)	☎0977-86-2241
12/31 佐藤医院(庄内)	☎097-582-3131
1/ 1 おざきホームケアクリニック(庄内)	☎097-582-0013
1/ 2 ごとう医院(挾間)	☎097-540-7800
1/ 3 新こどもクリニック(挾間)	☎097-583-8277



人の動き

- 総人口 …………… 36,713人 (-13)
 - 男 …………… 17,629人 (-1)
 - 女 …………… 19,084人 (-12)
 - 世帯数 …………… 14,785戸 (+15)
- 12月1日現在 ()は前月比 ※住民基本台帳より

発行元

由布市役所庄内庁舎総務部総合政策課
〒879-5498 由布市庄内町柿原 302 番地
TEL097-582-1111 FAX097-582-3971
<http://www.city.yufu.oita.jp/>
印刷：株式会社インタープリント

キ★ラ★リ★編★集

東庄内小学校の開校百周年記念行事に出席しました。私が通学していたころは、学校の場所も変わってしまっている母校。でも、子どもたちが校歌を歌い出した途端、古い木造校舎や校庭など、当時のことを思い出しました。何度も歌った校歌は、遠い日の思い出をよみがえらせてくれるものなのかもしれません。たまに口ずさんでみるのもいいですね。

(ゆ)

世代を越えて一緒に集まる場所、それが“学校”だと思います。石城西部小のコンサート取材で、地域の風土や歴史とともに「コミュニティ」が守られている場所なんだとあらためて実感。失われつつある地域で人を育てることの大切さ、そのことが「地域協育」につ

ながったのでしよう☆街のイル

ミネーションがある地域が一番輝くこのとき。家族、友人、恋人…さあ、あなたのサンタさんに感謝の気持ちを伝える季節がやって来ました♪

(ふ)



みなさんこんにちは市長です。
万葉集、山上憶良の長歌に「瓜食めば 子ども思ほゆ 栗食めば…」の反歌に「銀も金も玉も何せむに勝れる宝子に及かめやも」という歌があります。銀も金も宝玉もいったい何になろう。子どもという素晴らしい宝物に及ぼうか、いや決して及びはしない。子どもこそ最高の宝物だという内容です。この短歌を生徒として学び、教師として教え、そして、今は祖父としてこの歌を深く味わっています。憶良は子どもがかわいくてたまらないと歌っていましたが、今の私は「孫」に及かめやもです。

市長です

No. 24

文・首藤 奉文



▲湯布院の歳末チャリティーにて(左端)

その1歳と10カ月の孫が親の仕事の関係で初めてわが家に泊まることになりました。泊まってくれるのはうれしいのですが、夜中に泣かれたらどうしようと、これまた心配。連れ合いと二人で機嫌を損なわないようにと必死です。幸いにして泣かずに眠りについてくれたのはいいのですが、今度は転げ出しはしないか、布団をかぶって窒息したら大変と気が気ではありません。無事朝まで眠ってくれてひと安心。「いやあー、疲れました」の心境です。でも、うれしいですネ。
さて皆さん、今年も残すところわずかになりました。この一年、由布市の「発展に向けて」「融和」「協働」を率先して取り組んでいただき、本当にありがとうございました。「市長さん、市もようやく落ち着いてきたなあ」とか、「よその地域」のことが少しづつ分かるようになった」「もう我が田に水を」というようなちいせえこつ言うたんじゃあ、発展はでけん」とか「もつと花を植えられんのかえ」等々、たくさんの思いを聞かせていただきました。
また来年も皆さんと一緒に元氣いっぱい頑張ります。皆様が輝かしい新年をお迎えになりますよう、心からお祈り申し上げます。



2007
DECEMBER
12
Vol.27

City情報広場

とま温まる

～塚原農産物直売所にて～

まちのスポットライト

ハッピーバースデー／さわやかキッズ

まちかどズームアップ

DEAR 図書館だより

由布市文化財探訪

みんなのひろば



まちの スポットライト

vol.26

このコーナーは
「元気な人とまち」を応援するために
シリーズで掲載しています。

後世に残したい“この味”

古野やせうま保存会

皆さんは「やせうま」の由来をご存知ですか。平安時代の末期、藤原鶴清磨つるきよまさという若君が、大原八瀬やせという乳母に連れられ京の都を逃れて、豊後の国黒野くろの（現在の古野地区）に隠遁することになったそうです。信仰心のあつかった八瀬は、毎日のように妙蓮寺の地蔵菩薩にお参りし、若君の無事成長を祈っていました。ある日のこと、境内で遊び疲れ、お腹をすかせた鶴清磨に、小麦粉を練ってゆで、きな粉をまぶした「だんご」をつくって与えたところ「八瀬！ウマイのう！ウマイのう！」と喜び、全部平らげたそうです。それ以来八瀬は、鶴清磨が「八瀬！ウマ、ウマ！」とせがむたびにきな粉だんごを作っておっていました。以来、いつの間にか村人の間で、このだんごのことを「八瀬うま」「やせうま」と呼びようになったということです。そこで、挾間町古野地区では、代表的な郷土料理であるこの「やせうま」の素朴で、懐かしい味を次の世代へ残そうと、2年前に「古野やせうま保存会」を結成しました。

現在、約60人のメンバーが「きちょくれ祭り」をはじめ、地元の由布川小学校の児童へ作り方を指導するなど、日々活発的に普及活動を行っています。「伝統を守りながら、多くの人に伝えることが何よりもうれしいです」と後藤サダカ保存会会長。保存会では、小麦粉ときな粉ともに地元で取れた地粉じこを使い「地域の料理」として、また、それに関連して、毎年8月には子どもを中心とした「古野やせうま祭り」も盛大に開催するなど、地域の活性化を目指しています。

「今後も機会があれば市内のイベント等で、普及活動を行いたい」と吉永自治委員。ぜひ皆さんも「伝説」の古野のやせうまを一度ご賞味ください。お問い合わせは吉永繁古野自治区自治委員（☎097-583-3056）までお願いします。



▲これが“元祖”古野のやせうまです

▶ 妙蓮寺の境内には由来の看板も設置

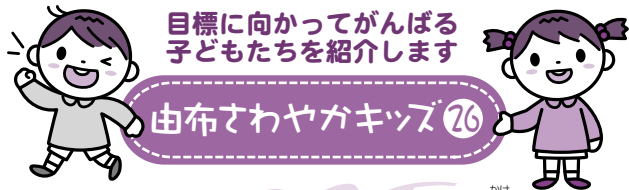


▶ 無料配布の長い列は今やきちょくれ祭りの名物



▶ 練り方と伸ばし方がポイント





目標に向かってがんばる
子どもたちを紹介します

由布さわやかキッズ 26

元気に楽しくグラウンドを翔る!

挟間陸上クラブ

全国都道府県対抗女子駅伝大会や県都市対抗女子駅伝大会、中学校総合体育大会など、数々の好記録を残す加藤岬さん(現宮崎日大高)をはじめ、多くの好記録者を輩出している同クラブは、現在小学1年生から中学3年生までの全員が、走ることを楽しみながら元気良く練習に取り組んでいます。準備体操からスタートして、短距離の走り込みや1,000m走、そして整理体操をして最後に全員でグラウンドに礼をします。「人数が多くてまとめるのは大変ですが、挨拶をはじめとした礼儀も指導しています」と話すのは監督の河野富穂さん。現在、7人の指導者が、キャプテンの橋本峻君(中2)を中心とした64人の部員へ、基礎をしっかりと指導しています。取材当日も都市対抗駅伝に向けて、長距離を中心に練習していました。小・中学生ともに各種大会に参加する機会に恵まれており、12月2日(日)に行われた第20回大分県都市対抗女子駅伝大会では、同クラブから由布市代表として3人選出されているまさに名門クラブです。練習は上原グラウンドで、毎週月、水、土曜日の午後5時から7時まで行われ、中学生のみ金曜日に自主トレを中心とした練習をしています。見学は自由です。入会希望者は、卜部さん(☎097-583-4300)までお問い合わせください。指導者も随時募集しています。



ハッピー12月バースデー

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!



よしひろ しんたろう
吉廣 心太郎くん

平成16年12月7日生 挟間町挟間

ひょうきん者の
しんたろう。
そのままのびのびと、
心豊かに育ってね。

なす さくら
奈須 咲良ちゃん

平成16年12月14日生 湯布院町川上

3歳おめでとう。
これからたくさん
お手伝いしてね。



みえの しゅうじ
三重野 修司くん

平成17年12月25日生 庄内町畑田

お誕生日おめでとう。
お笑いが大好きな修ちゃん。
これからも明るく元気な
男の子でいてね。

いわた しゅうと
岩田 宗士くん

平成18年12月25日生 庄内町柿原

毎日腹いっぱい
食べて元気な宗士君。
これからもたくさん
食べて大きくなってね。



なかやま
中山 せなちゃん

平成17年12月25日生 挟間町下市

お誕生日おめでとう。
いつも明るく元気で笑顔の
せなちゃん。これからも妹と
仲良く、優しい子になってね。

※お誕生日コーナーにお子さんの写真を掲載したい保護者の方は、事前に総合政策課(☎097-582-1111 内線222)へ電話でお申し込みください。対象は3歳以下で、市報ゆふのお誕生日コーナーに掲載されたことがない方とします(先着順)。

まちがどズームアップ

表彰

法務大臣賞を受賞

11月2日、三重野富久江さん(庄内町東長宝)が法務大臣賞を受賞しました。三重野さんは平成13年9月から平成19年9月まで約6年間にわたり人権擁護委員を務め、法務局で常駐当番として電話相談を受けたり、「人権だより」の発行、さらには庄内公民館で特設相談に応じるなど幅広い活動を行ってきました。今回の受賞にあたって「光栄です。今後も地域において人権擁護の活動に協力していきたいと思います」と感想を述べてくれました。また、大分法務局長賞には同じく人権擁護委員の庄討支生さん(挾間町七蔵司)が受賞しました。



▲くす玉を割って祝福

ほかほか

由布院駅のあし湯が10万人突破

11月20日、JR由布院駅のホームにある「あし湯」の利用者が10万人を突破し、記念セレモニーが行われました。幸運な10万人目となったのは、福岡市から旅行で由布院温泉を訪れた女性。花束と記念品が贈呈され、「突然のことで驚きましたが、よい記念になりました」とにっこり。平成15年10月のオープン以降、多くの方の心も体も温めてきた「あし湯」。多い日は約200人が利用しており、足湯に付きながらゆったりとした時間を過ごしているようです。

感動

本物のオーケストラがやってきた

10月15日、文化庁の本物舞台芸術体験事業として、東京ニューシティー管弦楽団(総勢62人)が挾間町の石城小学校にきました。指揮者には有名な曾我大介氏を迎え、保護者や地域の方、近隣の3小学校からおよそ220人が鑑賞。生のオーケストラの演奏に合わせて指揮をしたり「ドレミの歌」や「校歌」をオーケストラの迫力に負けず、元気良く歌ったりと子どもたちは貴重な体験をしました。大きな感動と、一生の宝物になった一日でした。



また、10月31日には、同町の石城西部小学校にて、へき地小規模校を対象としたプロの音楽家による「あすなろコンサート」が開催されました。生の演奏に出会う機会の少ない子どもたちのために、音楽との出会いを作るために企画されたものです。ピアノとチェロとダンスの3人の演奏家が、事前にリクエストした曲の演奏が始まると子どもたちは興奮して、音楽に合わせて一緒に体を動かしたり、「荒城の月」を一緒に演奏したりと大満足していました。この日、子どもたちは目と耳と心で音楽をきくことの大切さを学びました。

美化

ボランティアで祭りを支える

大分建物管理有限会社の社員とNPO法人ゆふのA I、福祉ボランティア専門研修の受講者らが、庄内神楽祭りを前に神楽殿周辺の清掃活動を行いました。また、挾間地域でも由布市建設業組合(秋吉善平会長)の関係者や大分川漁港挾間支部(利光直人支部長)の会員をはじめ、九州電力(株)大分支店の社員と西技工業(株)の社員がきちょくれ祭り会場となる中洲賀グラウンドや国道及び大分川沿いなどの清掃活動に取り組みました。



ふれあい

初めての“いっぽ”

11月5日、庄内養護学校小学部の児童らが、NPO法人「いっぽ一歩(由布さくら会共同作業所)」のメンバーによりサツマイモの苗を植えた畑で収穫体験を行いました。これは地域とのふれあいを目的に、今年初めて企画されたもので、当日は13人の児童が参加しました。中には児童たちの顔の大きさほどあるイモもあってびっくり!今後もこの取り組みを続けていくとのことで、児童たちは、貴重な体験を通して“いっぽ”成長した一日になりました。

啓発

火災予防をPR

11月9日、秋季火災予防運動の一環として、湯布院町内のすみれ・聖愛保育園の園児約80人が同町中心部で防火パレードを行いました。園児たちは「火の用心」と市民に火災予防を呼びかけました。また、パレードに先立ち、市消防本部は女性市議や市女性団体連絡協議会のメンバーら7人を「一日消防官」に委嘱。午後からは消防本部で消防車両などを見学し、実際に初期消火体験を行うなど、火災予防に向けて意識を高めました。



節目

地域とともに100年

東庄内小学校開校百周年の記念行事が11月18日、卒業生やかつて在籍した教職員、地域住民などが出席し同校で行われました。式典後は、児童の音楽発表や学校の歴史にちなんだ「百周年〇×クイズ」などがあり、みんなで節目の年を祝いました。また、記念植樹の後、児童が絵や20年後の自分にあてた手紙などをタイムカプセルに入れて校庭に埋めました。百周年の実行委員会では、学校行事や卒業写真等を掲載した記念誌(定価2,000円)を来年1月に発刊予定。希望者は同校まで。



魅せた!笑った!感動の2日間

はさまきちよくれ祭り2007

第22回はさまきちよくれ祭りが11月10日、11日の両日、挾間町の中洲賀グラウンドで開催されました。

初日は、ウルトラ○×クイズや素人のど自慢大会、やせうまの早食い競争などが行われました。2日目には太極拳演武や挾間町出身の飛汰明香ショーなどがステージで披露され、もちまきや豪華景品が当たる大抽選会が最後に行われ、楽しい2日間が終わりました。

また、会場内には農産物の販売や多くの出店も並び、好天に恵まれたこともあり、市内外から多くの方でにぎわいました。



▲ようこそ!はさまきちよくれ祭りへ



▲オープニングを飾った陣屋太鼓



▲盛況だった神楽



▲大人気のフワフワめじろん



▲やせうま早食い競争で優勝した岩永忠士さん(挾間町下市)



▲のど自慢大会で優勝した兼子洋子さん(大分市)



▲ひょっとこ踊りに大爆笑



▲あいさつをする田中真理子同祭実行委員会長



▲今年司会をした首藤健二郎さんと志賀江梨子さん



▲盛り上がった子ども相撲大会



▲文化協会による芸能を披露



▲ちんどん隊も頑張りました



▲日野康善同祭実行委員会長のあいさつ



▲もちまきも盛況

神々の勇壮で華麗な舞を堪能

庄内神楽祭り

● ふるさと祭りも同時開催 ●

第18回庄内神楽祭りが11月3日、雲一つない秋空の下、庄内総合運動公園で開催され、約4,500人の神楽ファンが来場しました。

今年は庄内地域の10神楽座と3保育園、由布高校の郷土芸能部、さらに湯布院地域から3団体が出演しました。各団体は1演目ずつ披露し、園児たちのかわいい舞をはじめ、庄内神楽のリズムが早い特徴をうけて、観客と一体となった臨場感あふれる舞を堪能した一日でした。

また、場内には第26回由布市庄内町ふるさと祭りもあわせて開催され、農産物をはじめ、ふるさとの特産を買い求める多くの来場者でにぎわいました。



▲大人に負けない舞を披露した子どもたち



▲会場を盛り上げたチャリ



▲見事な太鼓に会場から拍手



▲会場では来年のカレンダーも販売されました。



▲大蛇退治に大興奮

舞台裏では...



園児たちの舞を見守る先生たちも真剣です。



◀舞台裏はてんこ舞い！



▲多くの人でにぎわうふるさと祭り

DEAR ディア

由布市立図書館

庄内図書館

湯布院図書館



2007年は図書館にとって大きな変革の年になりました。

図書館・図書室は一元化され、由布市立図書館・庄内図書館・湯布院図書館となりました。

由布市3万7千人の図書館にふさわしい、利用者の皆様にとってより良い図書館となるよう、さらなる充実を図って行きたいと思えます。

庄内公民館図書室・湯布院公民館図書室が『図書館』に

10月の条例改正により、庄内と湯布院の公民館図書室は由布市立図書館の分館となり、由布市の図書館は「由布市立図書館・庄内図書館・湯布院図書館」の3館となりました。当面は3館とも現行どおり運営されます。開館・閉館時間、休館日など、新たに決定した時点でお知らせします。庄内・湯布院の両図書館につきましては今後、館内整備にとりかかる予定です。

由布市読書感想文コンクール入賞者決まる

11月17日(土)はさま未来館において開催された「地域協育を考える市民の集い」において由布市読書感想文コンクール入賞者表彰式が行われました。入賞者・入賞作品は次のとおりです。
(最優秀賞・特別賞のみ抜粋、敬称略)



表彰式の様子

小学校低学年部門	最優秀市長賞	川野 結華 (狭間小2年)	「すごいぞカナヘノサウルス」
		長島 陸 (星南小3年)	「同じいのち、大切ないのち」
小学校高学年部門	最優秀図書館長賞	古原 愛連 (狭間小6年)	「お母さんのやさしさ」
	最優秀市議会議員賞	平川 奈実 (由布院小4年)	「ハッピーバースデー」
		小野 琴音 (川西小5年)	「ナナさんへ」
中学校部門	最優秀教育長賞	佐藤花南子 (庄内中3年)	「未来の私たちに伝えた日記」
		恒松 真実 (庄内中2年)	「私にできること」
高校部門	最優秀	麻生 紗輝 (由布高1年)	「14歳の君へ」
一般部門	最優秀	赤嶺 雅美	「オール1の落ちこぼれ教師になる」

12月のテーマ展示 「昔の遊びと今の遊び」

明治、大正、昭和、そして平成。時代を経て、「遊び方」や「遊び道具」も大きく変わってきました。クリスマスや冬休みを前に「遊び」について、考えてみませんか。ご家族のだんらんにお役立てください。

12月のミニ個展 「デコパージュ」

出展者：田代 美百さん

壁飾り、3Dなどデコパージュによるステキな作品が展示されています。

お知らせ

★年末・年始の休館日★

由布市立図書館 ▶ 12月29日(土)～1月4日(金)
庄内図書館 ▶ 12月29日(土)～1月3日(木)
湯布院図書館 ▶ 12月29日(土)～1月4日(金)

12月のカレンダー

□ 3館の休館日

○ 3館のおはなし会

<http://library.yufu-city.jp/>
mail: h_tosho@city.yufu.oita.jp

由布市立図書館からお知らせ

TEL.097-586-3150 FAX.097-583-1186

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

1月の休館日 1～4(年始)・7月・14月・21月・28月・29火

1月のおはなし会 16水・26出

庄内図書館からお知らせ

TEL.097-582-0214 FAX.097-584-0683

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

1月の休館日 1～3(年始)・14月

1月のおはなし会 20日

湯布院図書館からお知らせ

TEL.0977-84-2604 FAX.0977-84-2603

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

1月の休館日 1～4(年始)・7月・14月・21月・28月・29火

1月の読みかたり お休み

農業NOW

今月は“畑柚子生産組合”です。



▲傷をつけず丁寧に収穫する渡辺組合長



▲奥さん達も頑張っています！



▲川西農産物加工所
ほかで販売中



▲皆さんの笑顔が素敵でした♪

「えっ？木の年数によって香りが違うのですか？」、「そう、年を重ねるほど香りが強くなるんじゃ」と教えてくれたのは渡辺久米雄組合長。なるほど、確かに5年と12年の木では、香りが全然違います。冬至のゆず湯とはまた異なった芳香に私は包まれました。

ここ湯病院下湯平の畑地区では、減反対策から始まった柚子の生産が盛んで、現在、同組合には23人の組合員が、10月から12月のピークの間、日々収穫と出荷に追われています。「今年は雨が少なかったから少々小ぶりじゃが、味がいいよ」と渡辺組合長。1本の木に1年で200～300個の実ができ、組合全体で約5haの面積に、生食用と加工用と合わせ年間9トンの収穫量があります。また、毎年県外へ視察研修を行って技術の向上に努め、毎年11月に開催される同地区の産業祭では柚子の品評会も行っています。

同地区内の下湯平農産物加工所では、組合員の奥さん達が、今では東京をはじめ全国から注文がある「ゆずごしょう」を製造しており、「種を使った化粧水もあるのよ」と教えてくれた奥さん達のお肌は“つるつる”でした。疲労回復とともにリラクゼーション効果もある柚子。身はもちろんのこと、皮から種までまさに捨てる所がありません。

鍋が恋しいこの季節、ぜひ皆さんご賞味ください。

YUFU農業ニュース

由布市出品牛を高く評価 第9回全共レポート

10月11日から14日にかけて鳥取県内で開催された第9回全国和牛能力共進会で、由布市内から出品された牛が高く評価されました。5年に一度開催される本大会は、和牛のオリンピックと呼ばれ、今回は「和牛再発見！ー地域で築こう和牛の未来ー」をテーマに全国から種牛と肉牛合わせて494頭が出品されました。由布市の明るい和牛の未来のため、今後も改良体制の育成強化と効率的な生産につながる取り組みが求められます。



▲出品者の皆さん
おめでとうございます。



結果は次のとおり

- | | | |
|-----------|------------|-----------------------|
| 第2区優等賞11席 | しもえ18 | 伊藤正秀 (庄内町阿蘇野) |
| 第5区優等賞5席 | 由布市和牛改良組合 | たかちよ2 佐藤富雄 (庄内町直野内山) |
| | | はなうめ 藤川幸子 (庄内町南大津留) |
| | | まつふね 岡林孝治 (湯病院町塚原) |
| | | いとさかえ 江藤菊己 (湯病院町川上) |
| 第7区1等賞3席 | 去勢肥育牛群 重政 | さわやか農業協同組合肉用牛肥育試験センター |
| 第8区1等賞 | 種雄牛：安糸美 安元 | さわやか農業協同組合肉用牛肥育試験センター |



～このコーナーは農政課との共同企画です～ (ふ)

由布市文化財探訪

その.23

今回は由布市湯布院町川上の「香椎荘」にある、『香椎荘の宝塔』を紹介します。

この宝塔は、湯布院町川上湯の坪の「香椎荘」の庭園南側にある自然石の上に置かれています。

昭和19年阿南村(庄内町東長宝蛇口)の三重野大蔵氏の墓地から現在地に移されたもので、湯布院町内の在銘石造物では、一番古い年代のもです。総高226cmで、各磔凝灰岩からなり、基壇は高さ15cm、幅63cmです。基礎は高さ43cm、幅52cmのどっしりとしたものであり、塔身は中央部がやや膨らんだ円筒形で、高さ首部を含めて46cm、中央部の周囲145cmです。四面に金剛界四方仏の梵字が大きく葉研彫りされ、南面に銘文が陰刻されています。これにより南北朝の歴応3年(1340年)に建立されたことがわかります。笠部と相輪の露盤は、一石で出来ていて、笠は重厚で厚さ2.8cm斗型が一個あり、軒口が二重になっており、中央部の厚さは8.5cmあります。

この宝塔は、一部欠損後そこを補っている部分がありますが、全体の姿はよく整い重厚で美しく、鎌倉期の特徴を残した南北朝期の秀作といえます。

『町誌 湯布院』より



▲香椎荘の宝塔

●次回紹介は……

由布市指定文化財「鬼崎磨崖仏1号、2号」を紹介いたします。お楽しみに!

「伝説 頸峰」

「豊後風土記」という古い本に「頸峰」という山が由布岳の西南にあると書かれています。はっきりとしてはいませんが、おそらく湯布院町と庄内町の境にある城ヶ岳、倉木山のあたりと推定されます。

昔この峰のふもとに頸田という水田があった。

本当の名は、宅田であった。この田の苗を小鹿が来て食うので、田の主がサクを作って待っていたところ、鹿が現れてサクの間からくびを出して苗を食った。田の主が鹿を捕まえて、首を切ろうとすると鹿が「ちょっとお待ちください。お約束します。もし死罪を許して下さるなら、それを大恩として、私の子孫に苗を食わせないようにします。」田の主は鹿の言うことを不思議に思って、首を切らずに許しました。それ以来この田の苗は鹿に荒らされることがなくなりました。だから頸田といい、それが峰の名になったそう。

参考文献：『大分の伝説(下巻)』

大分合同新聞 梅木秀徳著



▲城ヶ岳・倉木山付近

問い合わせ

由布市陣屋の村歴史民俗資料館

☎ 097-583-3941

由布市教育委員会 生涯学習課文化振興係

☎ 0977-84-3111 (内線234)

HOT LINE

みんなのひろば

由布市総合政策課
☎097-582-1111 内線222

試験

県臨時職員採用候補者名簿登録試験

試験日 平成20年2月3日(日) ※予定
募集期間 12月17日(月)～平成20年1月15日(火)
応募書式 県のホームページに掲載、県人事課及び県の各振興局で配布
問い合わせ 県人事課(☎097-506-2311)
HPのURL <http://www.pref.oita.jp/11200/rinji/>

下水道排水設備工事責任技術者試験

日時 平成20年2月24日(日) 午後0時50分～午後3時
場所 大分県教育会館(大分市下郡)
受付期間 平成20年1月7日(月)～1月21日(月)
※受験申込書は、下記担当課にて配布中です。
受験手数料 5,000円 ※受験資格などの詳細については下記までお問い合わせください。
問い合わせ 建設課都市計画係 ☎097-583-1111(内線1120)

相談

不動産相談室

不動産に関すること(売買、賃貸、境界など)で分からないことや困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料です。
日時 平成20年1月7日(月) 午前8時30分～正午まで
場所 市役所庄内庁舎 1階相談室
相談員 大分県宅地建物取引業協会 専務理事 土屋祐二氏
問い合わせ 総務課(☎097-582-1111内線211)

教室・講習会

介護入門教室

高齢者の特性及び認知症から介護保険制度、さらには介護予防についての講義や、各種介助の実習など、様々な団体やグループ等の希望に応じて実施する教室です。随時開催していますので、下記までご相談ください。

問い合わせ 県社会福祉介護研修センター(☎097-552-6888)



高齢者警備関連技能講習会

市内在住者で、健康かつ就職意欲のある年齢58歳から67歳までの方を対象とした講習会です。

実施場所 大分工業会館(大分市下郡)
実施期間 平成20年2月4日(月)～2月19日(火)
募集定員 20人(多数の場合は抽選)※受講料は無料
募集期間 12月17日(月)～平成20年1月28日(月)
※講習修了後、警備関連業務に就職可能な方で、全日程受講できる方のみ応募してください。
申込・問い合わせ (社)大分県シルバー人材センター連合会(☎097-540-6313)

募集

学人応援宣言!! 放送大学学生募集

放送大学では平成20年度第1学期(4月入学)の学生を募集します。

出願期間 12月15日(土)～平成20年2月29日(金)
視聴方法 大分学習センターの利用、または放送大学の番組を放送しているCS放送
資料請求・問い合わせ 放送大学大分学習センター(☎097-549-6612) ※無料体験入学実施中(事前の電話申込が必要です)

第51回労美展作品募集

部門 絵画、彫刻・工芸、書道、写真
デザイン・イラスト

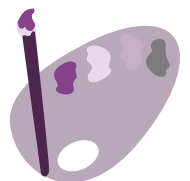
資格 県内に職場または住所を有する勤労者

テーマ 自由

出品料 1点1,500円(各部門1人1点)

申込期間 平成20年1月15日(火)～2月14日(木)

申込・問い合わせ 県中部振興局地域振興部(☎097-506-5727)



大分県立盲学校高等部生徒募集

募集学科 本科(中卒者対象)…普通科、保健理療科、
専攻科(高卒以上対象)…保健理療科、理療科

出願期間

前期：平成20年2月18日(月)～2月22日(金)

後期：平成20年3月17日(月)～3月19日(水)

※12月3日(月)より募集要項を配布しています。

面接・適正検査 前期：3月4日(火)

後期：出願時に実施

学力検査 前期：3月11日(火) 後期：3月21日(金)

問い合わせ 県立盲学校教務係(☎097-532-2638)※出願資格等はお問い合わせください。

「大分いのちの電話」

相談員養成講座受講生の募集

いのちの電話は、電話を通して様々な不安や悩みを持つ人の話を聴き心の支えになるボランティアです。あなたも相談員になりませんか。

期間 前期：平成20年4月16日(水)～約4ヵ月間

後期：平成20年8月末～約3ヵ月間

両方とも毎週水曜日午後6時30分～午後8時30分

場所 コンパルホール(大分市)

受講料 前期：2万円/後期：2万5千円

募集期限 平成20年3月5日(水)

定員 50人

対象者 23歳～65歳までの方

申込・問い合わせ 大分いのちの電話(☎097-537-2488)

2008 チャレンジ! おおいた国体

ここから未来へ 新たな一歩

由布市はゴルフ(少年男子)、アーチェリー、銃剣道、ライフル射撃、ラグビーフットボール(少年男子)の開催地です。おおいた国体は平成20年9月27日～10月7日の開催です。



チャレンジ! おおいた国体 由布市実行委員会

お知らせ

預金保険制度についてご存じですか

「預金保険制度」は、万一が金融機関が破たんした場合に、預金者の保護や資金決済の履行の確保を図ることにより、信用秩序を維持することを目的としています。また、本制度により当座預金や利息のつかない普通預金などは、全額保護されます。平成19年10月に民営化されました株式会社ゆうちょ銀行についても、預金保険制度の対象金融機関となっています。詳しくは、預金保険機構(☎03-3212-6029)または金融機関の窓口にお問い合わせください。



おふくろ便をお届けします

ふるさとの味と香りがいっぱいの農産物や手作りの特産品をまごころめてお届けします。限定100個です。

内容 ①米2kg ②味噌700g ③しいたけ80g ④小もち10個 ⑤梅干し200g ⑥あられ150g ⑦かぼす5個 ⑧ゆずの砂糖漬け ⑨漬け物 ⑩各種野菜

価格 3,000円(送料別)

申込期限 12月20日(木)

※12月27日(木)ごろ発送予定です。

申込先 那須(☎・FAX097-582-0564)

第7回 ゆふいんこども音楽祭開催

今年のテーマはクリスマス! ~音楽のおくりもの~

乳幼児から楽しめる内容のコンサートです♪♪

日時 12月22日(土) 午後2時開演(午後1時30分開場)

会場 湯布院公民館大ホールとロビー

出演 三宅農園音楽部(バイオリン、ピアノ)、DANパネ団(パネルシアター)、ゆふいん少年少女合唱団、赤嶺裕子(ソプラノ)、音楽堂本舗ほか

チケット こども700円(当日900円)、大人1,000円(当日1,200円)、親子ペア1,500円(前売りのみ)

※チケットは湯布院公民館でも扱っております。

問い合わせ ゆふいんこども音楽祭実行委員会事務局(米田)☎090-3609-2022までお願いします。

○主催 ゆふいんこども音楽祭実行委員会

○後援 由布市・由布市教育委員会